

春日市議会

総務文教委員会 視察報告(北海道)

春日市議会議員 さかき 朋之

春日市議会議員 さかき朋之後援会会報 号外

平成24年度総務文教委員会管外視察

この号の内容

- 1 平成24年度総務文教委員会管外視察
- 2 千歳市公営住宅ストック総合活用計画
- 3 苫小牧市科学センター視察
- 4 苫小牧市指定管理者制度モニタリングの実施について
- 5 恵庭市市民読書推進運動

現在春日市議会においては原則として毎年度ごとに一度、他都道府県や市町村において、今後春日市の行政サービスを考えるうえで参考になりうる地域に議員を派遣し、視察研修を行うことが出来るとされております。今回は私が所属している常任委員会である総務文教常任委員会に於いて、平成24年5月15日から17日までの3日間、北海道の千歳市、苫小牧市、恵庭市を訪問し、それぞれ「公営住宅の運営について」、「指定管理者制度の運用について」、「図書館運営の在り方について」をテーマに視察を行ってきました。どのテーマについても、今後私共春日市においても積極的に取り組まなければならない事柄であり、その先進的な事例として各市にご無理を言い、当該事例への具体的な取り組み。また、その運用に当たっての現状での課題や問題点、併せて今後の目標を限りある時間の中で大いに議論してきました。概要についてご説明いたします。

◆行程表は別紙を参照してください。

千歳市公営住宅ストック総合活用計画

北海道 千歳市 都市計画課

北海道の空の玄関口、新千歳空港を擁する千歳市において現在、公共住宅の候寿命化計画に基づいて、老朽化した市営住宅の建替えを行っている。現在、春日市においても市営住宅の建て替え計画が進行中である。千歳市における家賃相場等は春日市と大差なく、平均的な3LDKで88,000円程度であるらしい。この中で、作り変えられる市営住宅は80㎡超の同条件で2万円程度と住宅困窮者にとっては魅力的な金額である。春日市の市営住宅保有数370戸余りに比べて、千歳市の市営住宅戸数は約2400戸と多く、十分に戸数も確保しているように感じられるが、空き家について募集をかけるたびに平均して数十倍の競争率となり、現在の社会情勢等を考えると公営住宅に対する市民の期待は依然として高いものであろうことが伺われる。千歳市の場合はその土地柄からか敷地等に関しては春日市など問題にならないほど余裕があり、市営住宅の建替えに関しても設計上余裕を持った計画を実行している。むしろ市内においては民間の住宅が中心地より郊外へ向けて広がるいわゆる「ドーナツ化現象」を行政として食い止める為に、市営住宅の建替えを市内中心部に行うといった都市計画も併用して行っていた。また建替えに合わせてコミュニティー再生の為、児童館や保育所を併設するなど、市営住宅建設を都市計画の中に取り込み、単体事

※千歳市の資料は別途添付しております。

春日市における市営住宅 建て替え計画

現在春日市では、昭和30年代後半から40年代初頭に建設された市営住宅の長寿命化計画として4つの市営住宅の建て替え事業を行っている。374戸ある住宅数を維持して現在の規格に合うように2LDK～3LDKの住宅への変更を行う。事業年度は平成23年度から34年となっている。現在若草、欽修、双葉で、順次住民説明かが開催されている。

指定管理者制度とは

それまで地方公共団体や外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、株式会社を初めとした営利企業、NPO、法人その他の団体に包括的に代行させることが出来る制度である。地方税法の改正で、2003年月に施行。利用者の利便性の向上や公共団体の負担の軽減など導入の意義とされる。(出展：ウィキペディア)

政策の骨子

千歳市公営住宅ストック総合活用計画
千歳市住宅マスタープラン(上位政策)

「豊かな自然環境と調和し誰もが健康でいきいきと輝き暮らせる住まいづくり」

↓(これに基づいて)

《ストック活用の目標》

『少子高齢化に対応し、地域の活性化に寄与する公営住宅ストックの形成』

基本目標として

1. 高齢化社会に対応する公営住宅ストックの形成
2. 中心市街地の活性化と連携した公営住宅ストックの形成
3. 子育てを支援する公営住宅ストックの形成
4. 環境と共生した魅力ある公営住宅ストックの形成
5. 継続した事業推進と合理的な事業手法の選定

千歳市の市営住宅管理状況

区分	構造	棟数	戸数
公営住宅	簡易耐火 BC 平屋	266棟	1,014戸
〃	簡易耐火 BC 二階	38棟	182戸
〃	中層耐火 RC3～5階	32棟	1,041戸
〃	高層耐火 RC6～10階	3棟	156戸
改良住宅	中層耐火 RC4階	4棟	96戸
借上公営	高層耐火 RC10階	1棟	50戸
合計		344棟	2,539戸

以上の公営住宅をすべて平成26年度までの計画で建て替え、除却を行い平成40年度まで見直しを行う。

苫小牧市科学センター



視察と視察の時間を利用して、苫小牧市科学センターにロシアの前世代の宇宙ステーション、ミールを見学に向いました。この宇宙ステーションはソ連崩壊後、一般向けのオークションに出品されたものを札幌の建設会社社長が14億円で落札し、所縁のある苫小牧市に寄贈されたものです。市では早速これを展示するための施設を科学センターに増設し現在も展示を続けておられます。宇宙空間での生活に十分耐えられるように設計された質感を体験できる貴重な展示物です。これ一体で集客を見込める、そんな展示物でした。

苫小牧市指定管理者制度モニタリングの実施について

北海道 苫小牧市 行政管理室

苫小牧市では、公共施設利用者の満足度向上やニーズの変化を捉え、業務改善と市民サービスの向上を図る仕組みを目的とした指定管理者に対する総合的な評価を実施されている。苫小牧市においては現在40の公営施設を指定管理者による運営に委ねている。これらの施設運営が市民にとってよりよいものである為には、管理運営水準の維持向上を図らなければならない。その為、指定管理者が提案した計画内容の実施状況、目標として掲げた内容の達成度を評価すると共に、実際に施設を利用されている方々の声を直接聞き、要望の変化や実態を把握し、その結果を業務改善に反映させていく必要があると考え、「指定管理者制度におけるモニタリング実施要領」を策定し利用者満足度調査、指定管理者による自己評価（セルフモニタリング）を実施している。

具体的な手法としては、要領に定められたアンケートを利用者に対して実施すると共に、3カ月に一度指定管理者にセルフモニタリングを行い、目標の達成度や経営の状況等細部にわたる自己評価を行った上で、行政による審査を行い、その結果を公表している。このモニタリングによって低い評価を受けたものは当然今後の契約の期間において改善を迫られるし、上位評価の団体も更なる市民サービスの向上を目指す事を目的とされている。

※苫小牧市の資料は別途添付資料をご覧ください。



苫小牧市役所議会棟での視察風景

恵庭市 市民の読書活動の推進について

北海道 恵庭市 社会教育部

恵庭市では平成16年から「恵庭市図書館サービス計画」及び「恵庭市子ども読書プラン」によって図書館のビジョンを示し、「学校図書館ステップアッププラン」では、学校図書館の環境整備計画を明確にしている。市民の生涯学習を支援する拠点施設として、乳幼児期から体系的・継続的に読書活動を推進している。この活動は文部科学省の学校図書館活動の特徴的なものとして取りあげられている。

幼児期から本に対する興味を持たせる意味も含めて、市民による読み聞かせボランティアの推進や、学校図書館においては、各校に学校書士を配置すると言った市の政策として積極的な取り組みを行っている。この措置はこれまでそれぞれが独立した存在であった公営図書館と、学校図書館の連携を生み、効率的な図書購入計画にも繋がっている。また、学校図書館の充実、生徒達の貸出図書の増加と言う客観的な数字として表れ、それまで年平均30数冊だった貸出数が100冊読書運動へと広がっていった。市民全体が読書に親しむ街づくりを目指して、今後も図書館資料の提供の充実や、レファレンスサービスの充実など各種の具体的な政策をとりいれており、2013年には「読書のまち推進条例」の制定を目指している。今後は、情報収集のための窓口として、図書館機能の更なる発展を目指しており、今後も行政と市民が一体となった「読書に親しむ街づくり」の更なる推進が見込まれる。

※恵庭市の資料は別途添付資料をご覧ください。



恵庭市立図書館の室内風景



総務文教委員全員で記念写真

「恵庭市子ども読書プラン」の考え方(抜粋)

恵庭市子ども読書プランは、「子ども読書推進に関する法律」(2001年法律第154号)第9条第2項に基づいて恵庭市の現状及び「恵庭市子ども読書活動推進協議会」の提言を踏まえて、恵庭市の子供の読書環境整備為の基本的な方針と具体的な方策を明らかにする。

- I プランの目的 ブックスタート事業や学校図書館で育った子どもたちが、それぞれの年代で誰もが等しく読書活動に親しむ事が出来るような環境整備を目指して、計画的な推進を図る
- II プランの目標 「つなげよう、ひろげよう、育てよう、子どもが本と出合うまち」
- III 計画期間 平成17年度～平成26年度

視察を終えて・・・

ゆとりある街づくり

道央に位置する千歳、苫小牧、恵庭市を訪れて一番の感想は、何につけても広く行政にもゆとりがあふれているという事でした。人口こそ春日市と大差はありませんが面積が20倍以上あり、都市計画は余裕を持って進められている印象を受けました。しかし、それは反面行政サービスの拡散を意味し、一般会計の膨らみにもそれは顕著に表れています。都市の構造自体が持つ特徴を捉えた上で、各市で行われている政策が春日市にどう参考にし、反映出来るかを見極める必要があります。

千歳市の都市計画

先程も述べたように基本的に都市としての姿がこれほどまでに違う条件下にある都市計画は、春日市から見れば贅沢に過ぎる計画であると思われる。市営住宅の建て替えも、ドーナツ化を食い止める目的で市中央部に立替建設を行うなど、市有地に余裕がなければ出来るものではありません。立替を全く別の敷地に行うと言った贅沢な都市計画は春日市では考えられるものではありません。しかしながら、土地面積が広くても市民の住宅事情については変わりなく、それは市営住宅公募時に十数倍の倍率で応募がある事例からも伺われます。新公営住宅の建て替えに伴い今後春日市においても現在停止している市営住宅への入居者公募が行われます。既入居者と現在住宅困窮者と

の兼ね合いをよく見極めた運営が求められます。建て替え事例を参考にしながら、今後もより良い公営住宅の運営の在り方を研究してまいります。

苫小牧市の指定管理者モニタリング制度

今後の地方自治体の運営を考える上で、指定管理者制度の利用は財政的にも、また運営の効率化の面からも今後更なる導入が求められるのは事実です。しかしながら本来行政が持つべき機能を考えた時、経費の節減のみを追求していれば良いわけではありません。市民に対する真の意味でのより良いサービスの在り方を模索すべきです。その意味で、一定の裁量権を認めた指定管理者に必要以上に書類等の提出を求めるモニタリング制度には私は否定的な見解を持っております。況や、民間のサービスという、いわば叩き上げの物を官の人間が採点など出来るのかという疑問も付き纏います。民間の知恵を盗みつつ効率的な行政運営を行う為の過渡期の制度として指定管理者制度を捉えれば民間業者にも行政にも更に有効な管理の体制はあるはずで。春日市においても数施設が指定管理者によって運営されております。今後も市民の為になる管理体制を模索してまいります。

恵庭市の読書推進運動

様々な情報が氾濫する現代社会ではあります。いつか情報は紙媒体から違う形に移行していくかもしれません。しかし、数世紀に渡って人類の知識の源であり続けた「本」の持つ温もりや、読書を通して得られる人間の豊富な想像力は決して失くしてはならないものであると考えます。本を通して得た知識を、また本を通して子供達に受け継いでいく事は、知識の継承としてだけでなく、人と人との繋がりの継承としても重要なもののはずです。春日市でも読書を通じた人格作りや地域の間人関係の構築を模索すべきです。勉強になりました。

今後も視察の成果を市政に反映させます！

春日市議会議員 さかき 朋之 後援会

〒816-0872

春日市桜ヶ丘3丁目64番ルフト桜ヶ丘201

TEL 092-581-1200 FAX 092-581-1202

Mail : info@sakaki-t.com